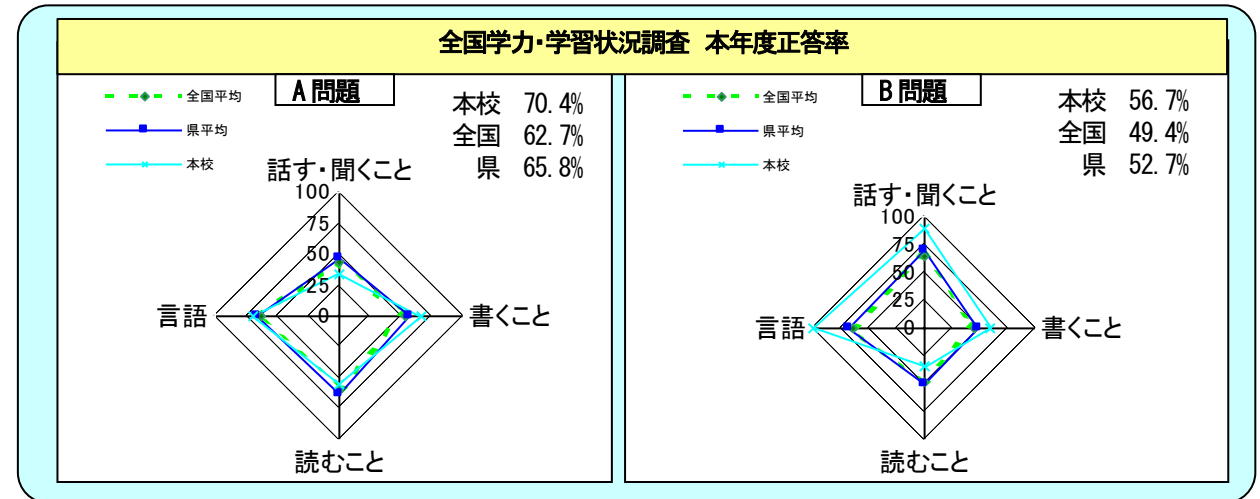
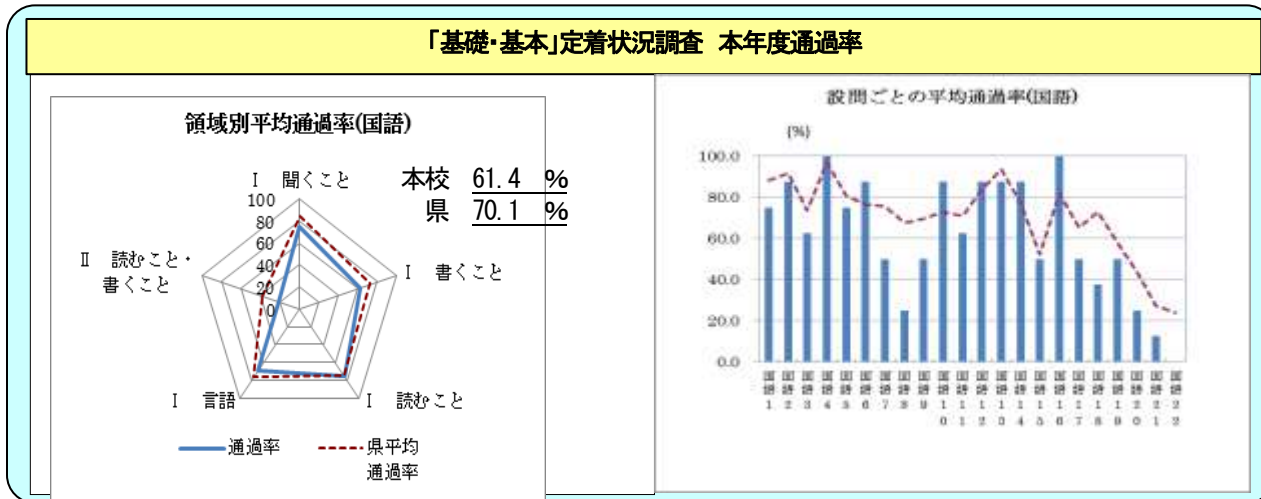


指導方法等の改善計画について〔国語〕



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎資料を読んで、理由や事例を挙げて文章を構成し、書く問題について、理由が述べられていなかったり、段落構成が出来ていなかったりするため、正答率が10%となった。

◇設問を読み取れておらず、条件を満たした文章が書けていないため、通過率が低い。また、資料をもとに自分の考えを述べることができない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎国語科を中心にして色々な教科で資料を読み取り、学習を重ねる。そして、読み取ったことをもとに、文章の構成を考えたり、段落相互の関係を考えたりして、論理的な文章を書く学習を行う。

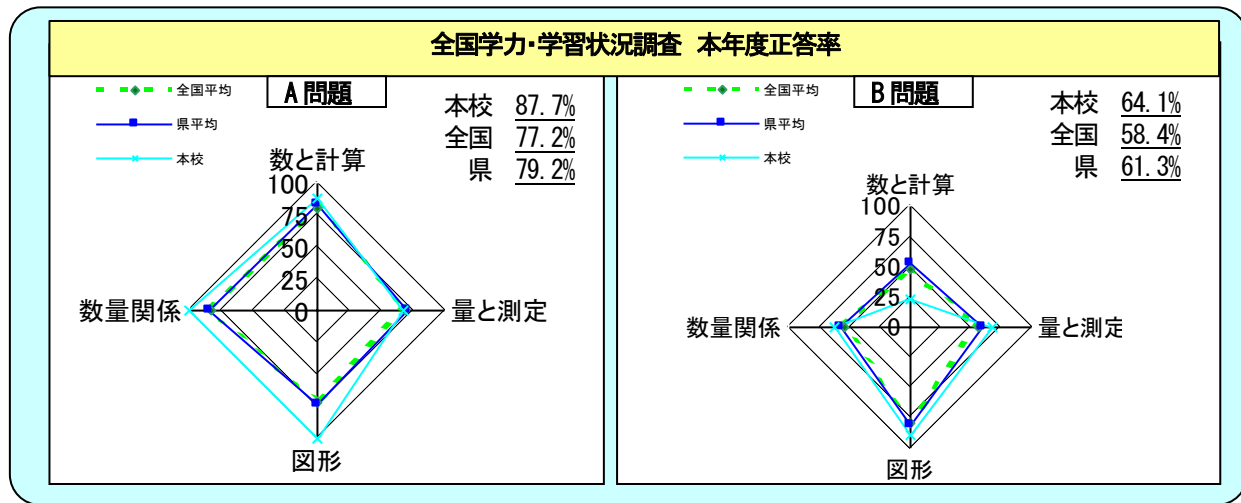
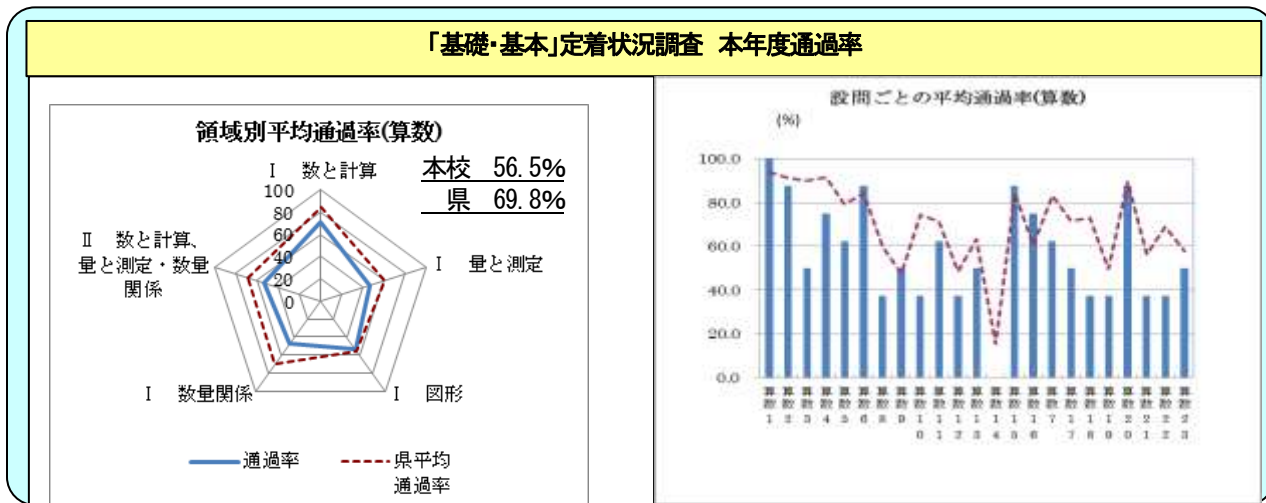
◇資料をもとに書かれている事柄を読み取り、書かれていることについて自分の考えを述べながら書く活動を行う。また、段落ごとに大事なことばをおとさないで、短い言葉でまとめる指導をする。

長文に慣れさせるため、読書活動を推進する。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			4・5年生 学期末テスト		H25 4年生 「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	70.0%			75.0% 75.0%		70.0% 75.0%	75.0% 75.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 小テスト			H25 5年生 「全国学力」			5年生 学年末テスト
目標値	60.0%			60.0%			75.0%
実施後数値							

指導方法等の改善計画について〔算数〕



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎正方形の定義を説明できない。
 角度について記述 通過率 28.6% 辺について記述 通過率 0%
 2つの条件を算数用語を使って書くことができていない。

◇単位量当たりの大きさを求めることができていない。
 問題の意味が理解できていない。また、表から必要な情報をよみとることができていない。通過率0%

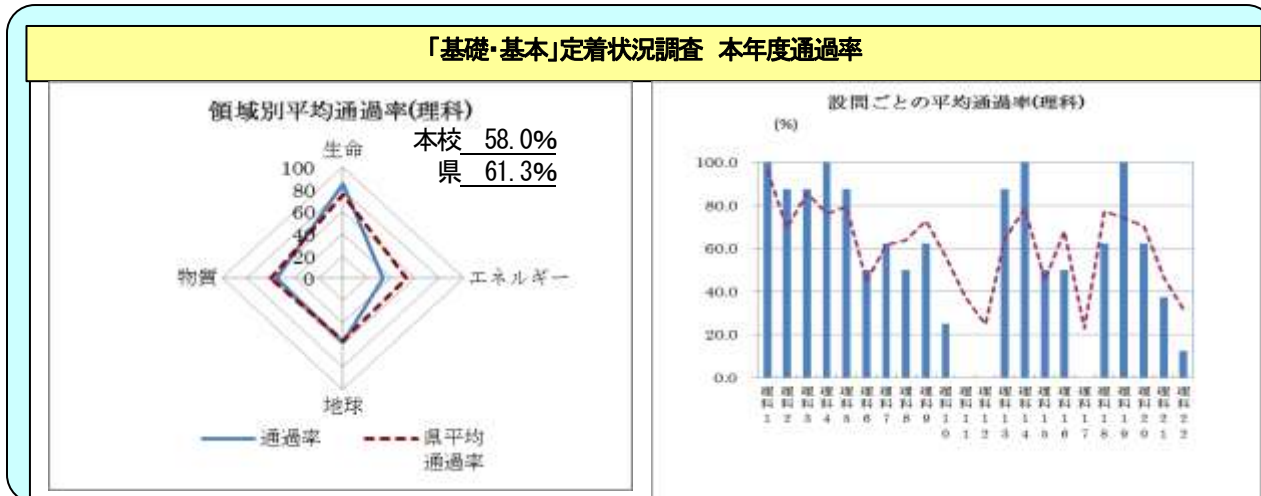
重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎ さまざまな図形を比較しながら弁別や作図をする操作活動を仕組み、図形の定義や性質を確実に理解させる。具体物を用いた活動を取り入れたり、日常生活と結びつけたりして理解が深まるようにさせる。また、算数用語を使って、筋道立てて説明し伝え合う活動を小中通して取り入れる。

◇ くらべる量やもとになる量をことばで書き、割合の求め方を繰り返し指導する。他教科でも目的に応じて表やグラフをよみとる活動を仕組んでいく。考えを自分の言葉で表現させるために、ホワイトボードに書かせ、説明させる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			4・5年生 学期末テスト		3・4年生 H25「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	70.0%			75.0% 75.0%		70.0% 75.0%	75.0% 75.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 小テスト			5年生 H25「全国学力」			5年生 学年末テスト
目標値	60.0%			60.0%			75.0%
実施後数値							



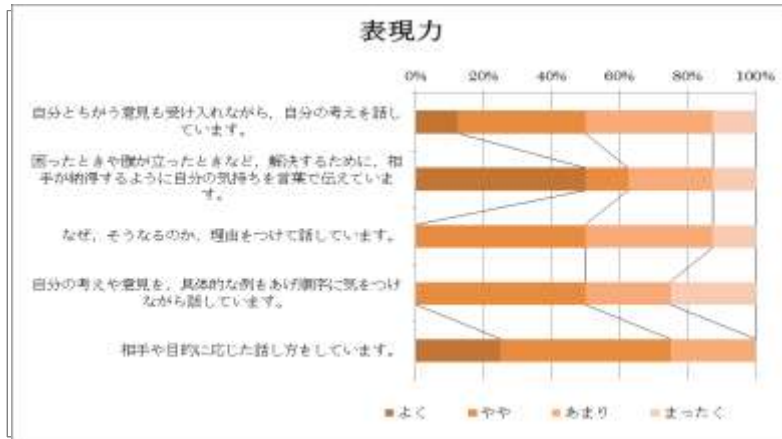
重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査	重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）
<p>◎①電流について、理科的な用語の語彙が少なく、論理的に記述できない。また、電池を使った回路などの実物进行操作する機会が少ない。</p> <p>◎②蒸発や結露について、現象が理解できていない。また、語彙が少なく、論理的に説明することができない。</p>	<p>◎①「電流の強さ」「蒸発」などの理科的な用語を積極的に使って学習を進め、実験を通して基礎的な事象をしっかり理解させる。</p> <p>◎②観察・実験の結果の考察について、グループで、判断の根拠を明らかにし、筋道立てて説明し伝え合う活動を繰り返し取り入れる。</p>

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			5年生 H25「基礎・基本」		4年生 H25「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	60.0%			70.0%		60.0%	70.0%, 80.0%
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			5年生 H25「基礎・基本」		4年生 H25「基礎・基本」	4・5年生 学年末テスト
目標値	70.0%			75.0%		70.0%	80.0%, 85.0%
実施後数値							

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

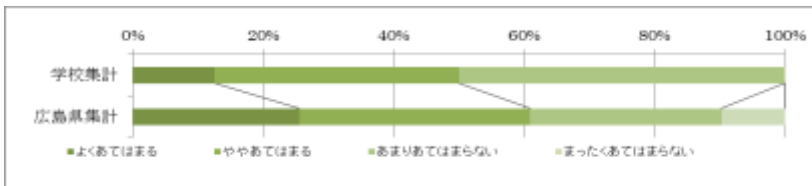
(1) 生活・学習



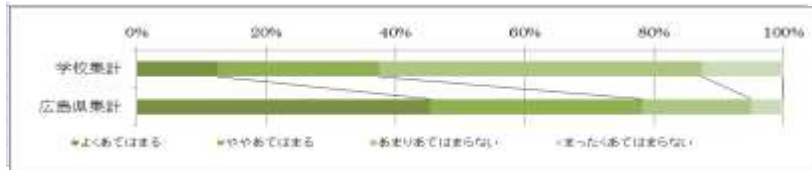
	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの概
基礎・基本	なぜそうなるのか、理由をつけて話している児童が50%と低い。自分の考えや意見を具体的な例をあげ、順序に気をつけながら話している児童が50%と低い。	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ等、自分の考えを話す機会を設ける。 言語技術の教育をしていく。(5W1Hの使い方、結論先行型で話す。) 	5	70%	児童アンケート調査	12月		
全国	400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと思っている児童がほとんどである。	<ul style="list-style-type: none"> 日記を継続して書かせることで書くことに対する抵抗を減らし、読書感想文など長い文章を書く機会も多く持つようにする。 	6	60%	児童アンケート調査	12月		

(2) 教科

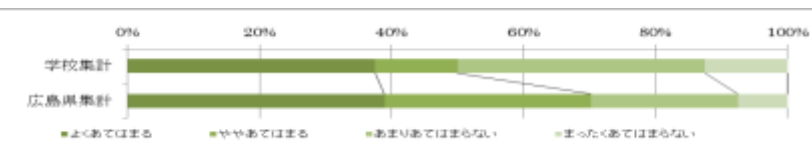
国語の授業の中で、学んだことの振り返りができています。



算数の授業では、問題を解くときに前に習ったことが使えないかいつも考えています。



理科の授業で学んだことを普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



「基礎・基本」定着状況調査の調査結果入力ファイルで作成されるグラフを適宜活用する。

	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの概
国語	基礎・基本	国語の授業の中で、学んだことの振り返りができていると答えた児童が50%と低い。	5	70%	児童アンケート調査	12月		
国語	全国	読書が好きだと答えた児童はほとんどなく、どちらかというが好きだと答えた児童は、66%と低い。	6	80%	児童アンケート調査	12月		
算数	基礎・基本	算数の授業では、問題を解くときに前に習ったことが使えないかいつも考えている児童が37.5%と低い。	5	60%	児童アンケート調査	12月		
算数	全国	算数の授業で、問題を解くときに、なぜこの式に表したのかという理由を考えている児童が66.7%と低い。	6	80%	児童アンケート調査	12月		
理科	基礎・基本	理科の授業で学んだことを普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしている児童が50%と低い。	5	70%	児童アンケート調査	12月		